

科目コード	N117
授業科目名	感染症学
授業科目名(英文)	Infectious Diseases
講義室等	6107
学科	看護学科
対象学年	1年
開講学期	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	鈴木 克典
授業の概要	感染症学では、病原微生物の性質や生態、感染を引き起こすしくみを理解することによって、感染症予防あるいは制御のための理論と方法を学ぶ。臨床の間では感染症の診断や治療、そして易感染患者に対する感染防止対策などの総合的看護活動が求められている。また、地域社会や職場環境を対象とした保健・衛生活動においては、感染症の拡大予防策など、看護技術者の担う役割は広範かつ重大である。こうした行動を適切に、そして積極的に進めるための微生物学ならびに感染症学の基礎知識を修得できるようになる。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 感染症の発生要因につき、その概要を説明することができる。 2. 主要な病原微生物につき、その感染経路、病原性、予防を説明することができる。 3. 宿主側の感染防御因子を列挙し、それを説明することができる。 4. 消毒や滅菌、無菌操作の意味、その目的を説明することができる。 5. 消毒や滅菌の具体的方法を理解し、それを感染防止に向けて適切に応用することができる。
予習復習の所要時間	講義時間32時間(2時間×1コマ×16回)+予習・復習13時間
成績評価方法	提出物の提出状況とその内容(10%)、筆記試験の成績(90%)で60点以上を合格とする。
教科書	岩田健太郎 川口鎮司 山口正雄 岩淵千太郎 大路剛 岡秀昭 上山伸也 滝口智子 角田こずえ 土井朝子 古谷直子 古屋洋子 細川直登 馬原美保子 南川雅子 山本舜悟 山本未央著:「系成人看護学[11]アレルギー 膠原病 感染症」第15版、2020年(医学書院) ISBN:978-4-260-03858-4
参考書	富家恵美子 著:「院内感染」(河出書房新社)(既蔵書) ISBN:978-4309006086 齋藤光正 著:「イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ」改訂2版 (南山堂) ISBN:978-4525163426 改訂3版 2023年発刊予定
その他	正しい知識、エビデンスに基づいた「恐れすぎず、あなどらず」の感染制御を修得する。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.10.7	火	II	感染症とはどのような疾患か(細菌、真菌、原虫、ウイルス、プリオン)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第1章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
2	R7.10.14	火	II	感染症とはどのような疾患か(感染源、感染経路、感染の機構)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第2章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
3	R7.10.21	火	II	感染症とはどのような疾患か(感染の病態生理、感染症で見られる症状)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第2章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
4	R7.10.28	火	II	感染症の検査と診断	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第3章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
5	R7.11.11	火	II	感染症の治療	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第4章を読んでおくこと。 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
6	R7.11.18	火	II	感染症の理解(A 発熱・不明熱、B 上気道感染症、C 下気道感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第5章を読んでおくこと。 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
7	R7.11.25	火	II	感染症の理解(D 心血管系感染症、E 消化器感染症、F 肝胆道系感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
8	R7.12.9	火	II	感染症の理解(G 尿路感染症、H 性感染症、I 皮膚軟部組織感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
9	R7.12.16	火	II	感染症の理解(J 眼の感染症、K 中枢神経感染症、L 悪性腫瘍、造血幹細胞移植、固形臓器移植に伴う感染症、M 菌血症・敗血症)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
10	R7.12.23	火	II	感染症の理解(N 人動物咬傷、O 麻しん・風しん・水痘、P 真菌感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
11	R8.1.6	火	II	感染症の理解 (Q 寄生虫感染症・ワンヘルスの概念)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
12	R8.1.13	火	II	感染症の理解 (R HIV感染症と日和見感染症、S 多剤耐性菌感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
13	R8.1.20	火	II	院内感染対策・専門看護師、認定看護師というお仕事	講義	鈴木 克典	1	
				教科書第6章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
14	R8.1.27	火	II	実習Ⅰ (スタンダードプレコーションと感染経路別対策)、院内感染と感染予防対策	講義・実習	鈴木 克典	1	
				教科書第6章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
15	R8.1.29	木	II	実習Ⅱ (スタンダードプレコーションと感染経路別対策)、院内感染と感染予防対策	講義・実習	鈴木 克典	1	
				教科書第6章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				講義プリントと最重要ポイントを復習する。				